

民主島根

2016年
7.31
第1267号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

被爆71年なくそう核兵器、つなごう被爆者の願い

国民平和大行進・島根入り

沿道などから署名や募金が寄せられる



「憲法を守ろう」「戦争法廃止」とアピールしながら行進する参加者(松江市)

国民平和大行進(富山―広島コース)が22、23の両日、松江市で行われました。
23日朝の天神町ロータリーでの出発式には24人が参加。県原水協の徳永和洋事務局長がヒバクシヤ国際署名に触れ、「被爆者に寄り添い、願いをかなえよう。署名を力に核兵器のない世界をつくろう」と呼びかけました。
参加者は「こんにちは、平和行進です」と元氣よく市民にアピール。沿道から85人分の署名と募金、「核兵器も原発もなくして」との声も寄せられました。
22日の東出雲町内の沿道では58人分の署名



と募金が寄せられました。県庁では、県議会事務局長が署名と募金を代表団に託しました。市役所では、総務部長が平和首長会議に連携した平和

県各界連が宣伝署名行動

「消費税10%増税キツパリ中止を」

消費税廃止県各会連絡会は25日、松江市で消費税10%増税の中止を訴えました。

の取り組みなどを紹介。松浦正敬市長と山本勝太郎議長のパナント、署名が代表団に手渡されました。夕方には100人が市内を行進しました。

「社会保障の財源はどうするの」と聞いたのは松江市伊勢宮町の女性。参加者が「政党助成金や米軍への思いやり予算をなくせば財源はできる」と話すと署名していきま

した。松江市玉湯町の女性「安倍さん代わったほうがいい」と署名していききました。(写真)

日本共産党の後藤勝彦県委員長は「アベノミクスで恩恵を受けているのは一握りの大企業だけです。大企業や大金持ちに

赤旗囲碁・将棋大会日程

☆松江地区大会

10月2日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: いきいきプラザ島根4F

【参加申込】日本共産党東部地区委員会

☆雲南地区大会

9月18日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: 調整中

【参加申込】日本共産党東部地区委員会

☆出雲地区大会

9月11日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: 神門(かんど)コミュニティーセンター

【参加申込】日本共産党中部地区委員会

☆江津地区大会

9月4日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: 県立少年自然の家

【参加申込】日本共産党西部地区委員会

☆益田地区大会

9月25日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: 益田市立市民学習センター

【参加申込】日本共産党西部地区委員会

☆邑智地区大会

8月28日(日) 受付9時30分 開会10時
場所: 井原公民館

【参加申込】「しんぶん赤旗」川本出張所



尾村氏は「参議院選挙で改憲勢力が議席の3分の2を占めました。国民は憲法改正への白紙委任を与えたわけではありません。野党と市民のスクラムで憲法を守るために力を強力にすすめましょう」と呼びかけました。

共産・民進・社民が合同街宣

尾村県議、党松江市議団ら参加

日本共産党、民進党、社民党の野党3党は19日、松江市の県庁前で「戦争法廃止・合同街頭演説会」を開きました。(写真)

日本共産党の尾村利成県議(県副委員長)、民進党の岩田浩岳、山本氏は「憲法9条を守り抜くため、引き続き3党での19日宣言を継続するなど力を合わせて頑張ります」と決意を表明しました。

尾村氏は「参議院選挙で改憲勢力が議席の3分の2を占めました。国民は憲法改正への白紙委任を与えたわけではありません。野党と市民のスクラムで憲法を守るために力を強力にすすめましょう」と呼びかけました。

鼓動

朝ドラ「とと姉ちゃん」は、念願の生活雑誌創刊へとこぎつけ、佳境へと入った。ヒロイン常子のモデルは「暮らしの手帖」の社主、大橋鎮子だが、もう一人の主役が名編集長の花森安治だ。ドラマでは花山伊佐治として登場する▼常子と花山を結びつけるきっかけは、花山の「終戦の」8月15日にすべてに気付いた「だった。常子の執拗な編集参画への誘いに、花山は「戦時中、男には暮らしよりも大切なものがある」と思い込まされていた。しかし、暮らしを犠牲にしてまで守るべきものは何もないと気付いた」と暮らしに役立つ雑誌づくりに立ちあがった▼花森は戦時中、「大政翼賛会」宣伝部で戦争推進の宣伝活動に従事。ドラマの中で花山は「焼夷弾は怖くない」と誤った宣伝をした。逃げたい助かっていたのに、それを信じた女性、老人、子どもまでがバケツで消しに行き被害を大きくした。言葉の力は恐ろしい」と唇をかみしめた▼「暮らしの手帖」は、広告を載せない編集方針とともに花森作の美しい表紙が評判となった。安らぎとぬくもりのある表紙の原点はどこから。それは青春時代を過ごした昭和初期の松江にあった。

松江の古風な町並みと風情にその感性が培われ、学んだ旧制松江高校(現島根大学)での「校友会」雑誌編集が原点となった▼「日本人の暮らし方のひとつの原型がここに生きている」と同誌の松江特集で書いている。松江をこよなく愛したわが母校の大先輩。暮らしを守ることにすべての原点と気付いた8月15日。もうすぐ71回目の終戦記念日がやってくる。(吉)